

令和6年度

公立大学法人横浜市立大学
看護キャリア開発支援センター
特定行為研修

受講者募集要項

外科術後病棟管理領域パッケージ
自由選択コース 18 区分

公立大学法人横浜市立大学

YOKOHAMAでCAREERをSTEP UP!



横浜市立大学看護キャリア開発支援センターは、平成 27 年度に開設し 9 年目を迎えています。本学看護領域が学部教育から入職後の生涯教育まで YCU ミッションである「国際都市横浜とともに歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す」に取り組み、併せて、特定機能病院・高度急性期病院の看護ケアを提供する為に必要な基本的能力を兼ね備えた看護職の育成をしています。

本学の特定行為研修は高度急性期医療から、在宅医療・生活を支援していくことが出来る看護職のジェネラリスト研修として位置付けています。外科術後病棟管理領域パッケージをはじめとして、18 区分 32 行為を選択でき、臨床教育・指導経験豊富な講師陣によるカリキュラムとなっています。また、履修時間数を多く持ち、学びの充実を図りました。

研修修了生のネットワークでは、共に研鑽し更に看護実践能力の向上に取り組み、患者ケアの最善に取り組んでいます。ぜひ多くの皆さんがチャレンジしていただくことを期待しています。

※YCU-N ジェネラリスト

YCU-N「横浜市立大学の安全・倫理を基盤とし、看護師に必要な基本的能力を身に付けながら知識・技術・能力を発揮しキャリア開発をし続ける看護師」

<横浜市立大学 看護キャリア開発支援センター センター長 鈴木久美子>

【本学の特定行為研修の特徴】

1. 附属 2 病院および横浜市内の病院看護職員が対象の特定行為研修です。
2. 就業を継続しながら週 2~3 日程度の授業で学べます。
3. 共通科目及び区分別科目ともに e-learning による学習と、臨床指導経験豊富な講師による演習及び実習で構成されています。
4. 研修期間を通して「集合ミーティング」を開催し、学んだ知識と実践をつなげる時間を多く設けています。

* 他施設からの募集は令和 7 年度受講生からとなります。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

目次

1. 横浜市立大学の理念.....	1
2. 横浜市立大学の人材育成の基本方針.....	1
3. 横浜市立大学看護キャリア開発支援センターの看護師のジェネラリスト育成に関する基本的な考え.....	1
4. 特定行為研修の理念・目的・目標.....	1
5. 本研修の研修目標.....	2
6. 本研修の修了要件.....	2
7. 本研修の定員数.....	2
8. 本研修の研修期間と募集時期.....	2
9. 研修内容と時間数、共通科目と区分別科目の修了要件.....	3
10. 受講コースおよび受講期間.....	5
11. 受講資格.....	5
12. 履修免除について.....	5
13. 出願手続き.....	6
14. 選考方法・合格発表.....	7
15. 受講手続きと納付金について.....	13

1. 横浜市立大学の理念

本学の理念は、「国際都市横浜と共に歩み、教育・研究・医療分野をリードする役割を果たすことをその使命とし、社会の発展に寄与する市民の誇りとなる大学を目指す」ことです。

その中で附属2病院は、医療の基本的理念である患者本位の医療や医療安全管理の徹底に取り組むとともに、県内唯一の公立大学附属病院として、地域医療での要となる位置づけのもと、高度で先進的な医療の提供を行い、大学病院として担う医療人の育成や研究の推進、地域貢献を積極的に果たしていきます。

2. 横浜市立大学の人材育成の基本方針

職員一人ひとりが、主体的に能力開発に取り組み、他職種とのパートナーシップのもとプロフェッショナルを目指すとともに、組織として一丸となり人が育ち、人を育てる組織風土の醸成を目指します。

本学が求める職員像は、「危機感・責任感・一体感を備えた職員」であり、そのためのYCUアクションとして、次の5点を掲げています。

1. 将来を見通し、自ら考えて行動する。
2. 信頼を得られるように行動する。
3. 仲間意識を持って行動する。
4. 人材育成と自己研鑽を進める。
5. できることは、規制にとらわれずすぐに行動する。

3. 横浜市立大学看護キャリア開発支援センターの看護師のジェネラリスト育成に関する基本的な考え

横浜市立大学の安全・倫理を基盤とし、看護師に必要な基本的能力を身に着けながら知識・技術・能力を発揮し、キャリア開発をし続ける看護師

4. 特定行為研修の理念・目的・目標

1) 特定行為研修の基本方針

本学の特定行為研修は、高度で先進的な医療・ケアを提供するために必要な6つの基本的な能力と21の下位能力を兼ね備えたジェネラリストの育成を目指します。

本研修では、地域包括システムにおけるあらゆる場において適切に判断し実践できる高い看護実践能力を持ち、チーム医療においてkey person役割を担い協働する力を発揮できる看護職の育成を目指します。

そのため本研修は、地域医療や高度急性期・救急医療の現場で、適切な臨床判断を行い看護実践するために必要な十分な知識と技術、高い倫理観を持

つ看護職の育成を図ることを基本方針とします。

2) 本研修の基本理念・目的

高い倫理観を持って、高度で先進的な医療・ケアの提供をするために必要な高度な臨床実践能力を有するジェネラリストを育成し、チーム医療の中で看護専門職としての役割を発揮しながら自ら考え行動し、自己研鑽できる看護職を育成します。

5. 本研修の研修目標

- 1) 地域医療や高度急性期・救急医療の中で、当該特定行為を実践するために必要な知識・技術・態度など基礎的な能力を養う。
- 2) 患者の安心・安全を守り、臨床倫理について学び当該特定行為を実践できる基礎的な能力を養う。
- 3) 患者の問題解決に向けて、リーダーシップを発揮して多職種と効果的に協働するための能力を養う。
- 4) 看護専門職としての役割を発揮して自ら考え行動し、自己研鑽する能力を養う。

6. 本研修の修了要件

本研修を修了するためには、次の条件を満たすことが必要です。

- 1) 共通科目を全て履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。
- 2) 1) 修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験もしくは観察評価に合格すること。一部の科目では実技試験(OSCE)に合格すること。

※本研修修了者には、保健師助産師看護師法第37条の2第2項第1号に規定する特定行為及び同項第4号に規定する特定行為研修に関する省令に基づき、修了した特定行為区分ごとの修了証を交付し、研修修了者の名簿を厚生労働省に提出する。

7. 本研修の定員数

5名および追加履修者(若干名)

8. 本研修の研修期間と募集時期

研修期間：1年6か月

共通科目を修了後に区分別科目*の受講を開始。 * 複数選択可

なお、在籍期間は、**最長3年間とします。**

また特定行為研修管理委員会の議を経て、別途必要に応じた休講期間を設けることができます。

募集時期：年1回(1月)

9. 研修内容と時間数、共通科目と区分別科目の修了要件

本研修は、共通して学ぶ「共通科目」と特定行為区分ごとに学ぶ「区分別科目」に分かれており、講義、演習または実習によって行われます。

1) 共通科目（必修科目）：

特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間：6か月）

科目	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
臨床病態生理学	29	1		1	31
臨床推論	26.5	16	1	1.5	45
フィジカルアセスメント	17.5	8.5	13.5	5.5	45
臨床薬理学	32.5	11.5		1	45
疾病・臨床病態概論	37	3		1	41
医療安全学/特定行為実践	24.5	14	4.25	2.25	45
合計	167	54	18.75	12.25	252

【修了要件】

- ・ 区分別科目は、eラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格すること。
- ・ 演習は、関連するeラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすこと。
- ・ 実習は、関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たす。その後、科目修了試験に合格すること。

2) 区分別科目（必修科目）：

各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目（研修期間：9か月～ 選択区分数により期間は異なります。）

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
呼吸器（気道確保に係るもの） 関連	10	—	5 症例	1	11+ 5 症例
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの） 関連	24.5	6	20 症例	2.5	33+ 20 症例
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの） 関連	8	—	5 症例	1	9+ 5 症例
胸腔ドレーン管理関連	14	1	10 症例	1	16+ 10 症例

特定行為区分	時間数				
	講義	演習	実習	評価	合計
腹腔ドレーン管理関連	9	—	5 症例	1	10+ 5 症例
ろう孔管理関連	26	—	10 症例	2	28+ 10 症例
栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理) 関連	8	—	5 症例	1	9+ 5 症例
栄養に係るカテーテル管理(末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	9	—	5 症例	1	10+ 5 症例
創傷管理関連	36	—	10 症例	3	39+ 10 症例
創部ドレーン管理関連	7	—	5 症例	1	8+ 5 症例
動脈血液ガス分析関連	15.5	—	10 症例	1.5	17+ 10 症例
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	18.5	2	10 症例	1.5	22+ 10 症例
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	14	3	5 症例	2	17+ 5 症例
術後疼痛管理関連	9	1	5 症例	1	11+ 5 症例
循環動態に係る薬剤投与関連	24.5	5	25 症例	3.5	33+ 25 症例
感染に係る薬剤投与関連	24	6	5 症例	2	32+ 5 症例
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	20.5	6	15 症例	2.5	29+ 15 症例
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	14.5	4	5 症例	1.5	20+ 5 症例

【修了要件】

- ・ 区分別科目は、e-ラーニングを中心とした講義を受講し、確認テストに合格すること。
- ・ 演習は、関連するe-ラーニング講義を履修したのち実施し、指導者の観察評価に

より合格基準を満たすこと。

- ・ 実技実習は、関連する講義・演習を履修したのち実施し、指導者の観察評価により合格基準を満たすこと。
- ・ OSCE のある科目に関しては、患者に対する実技実習の前に OSCE に合格し、その後科目修了試験に合格する。

10. 受講コースおよび受講期間

1) 外科術後病棟管理領域パッケージコース

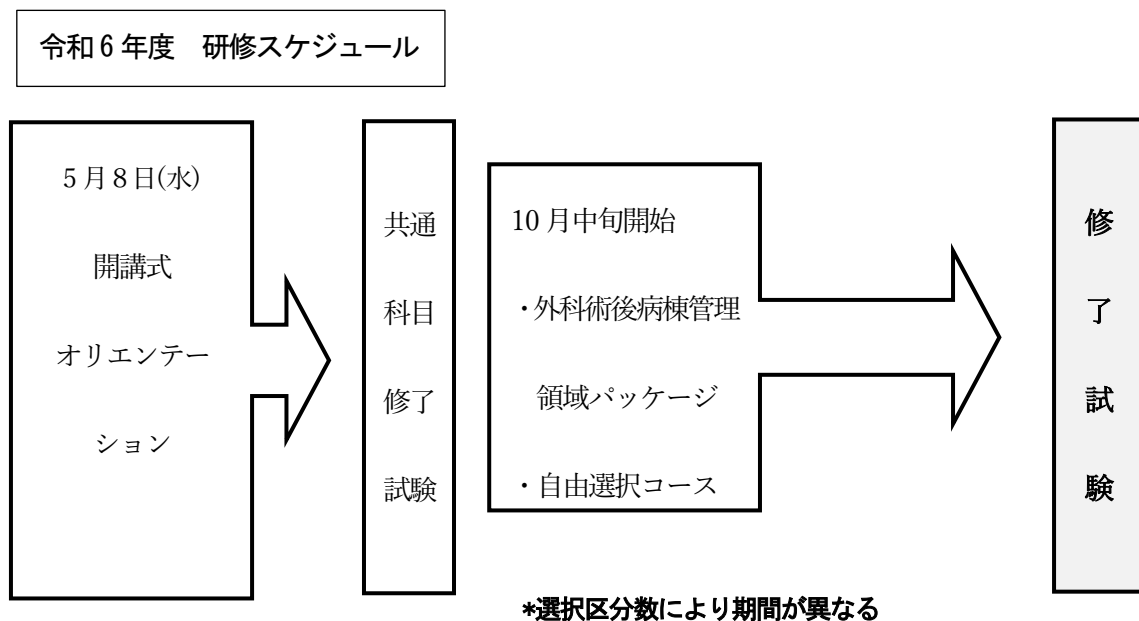
12 区分 15 特定行為をパッケージで学ぶコース。

共通科目修了後、各区分別科目を約 1 年半で学びます。

2) 自由選択コース

18 区分 32 特定行為を自由に選択して学ぶコース。

共通科目終了後に選択する区分数によって学ぶ期間が異なるが、約 9 か月～1 年半で学びます。



11. 受講資格

次の 1) から 4) のいずれの要件も満たす看護師であること。

- 1) 看護師免許を有すること
- 2) 看護師の免許取得後、通算 5 年以上の看護実務経験を有すること
- 3) YCU-N キャリアラダーⅢ (JNA クリニカルラダーレベルⅢ) 以上であること
- 4) 看護部長(施設長)の推薦を有すること

12. 履修免除について

当センター、他機関で特定行為研修を履修した者は共通科目について履修を免除することができます。共通科目の履修免除を希望する場合は、出願時、履修免除申請書および特定行為研修の修了証（写し）を提出していただきます。特定行為研修管理委員会で認められた場合、共通科目の履修を免除することができます。また、共通科目の履修免除が許可された者は、全ての共通科目の修了試験、医療面接、身体診察手技の演習・OSCE に合格する必要があります。

また、共通科目の履修免除が認定されたときは共通科目の講義受講料を免除するものとします。

13. 出願手続き

【出願手続き期間】

令和6年1月22日（月）～令和6年1月31日（水）消印有効

【出願提出書類】

- 1) 特定行為研修願書（様式 1-1）
- 2) 推薦書（様式 1-2）
- 3) 受講希望コース申込書（様式 1-3）
- 4) 受講志望理由書（様式 1-4）
- 5) 看護師免許（写し）
- 6) 既修得科目履修免除申請書（様式 1-5） ※履修免除希望者のみ
- 7) 特定行為研修修了証（写し） ※履修免除希望者のみ

※所定用紙をホームページよりダウンロードし、看護師免許（写し）と共に募集期間内に提出してください。

※看護師免許は A4 サイズに縮小コピーをしてください。

※この試験において提出された書類は、一切返却しません。

【出願書類送付先】

〒236-0004

神奈川県横浜市金沢区福浦3-9

公立大学法人横浜市立大学附属病院内

看護キャリア開発支援センター 看護師特定行為研修担当 宛

※必ず「郵便書留」で郵送するか、直接持参をしてください。

電話：045-787-2800（代表）

問合せ窓口：看護キャリア開発支援センター 事務担当

【審査料】

10,000円（税込み）

指定口座に所定期日までに振り込んでください。

14. 選考方法・合格発表

書類にて選考します。

選考結果については、令和6年3月上旬頃に郵送にて通知します。

電話やメールでの合否の問い合わせには応じられません。

令和6年度 第5期生「特定行為研修」願書

年 月 日現在

フリガナ		フリガナ		写真 3×4cm
氏名	印	現住所 ※両メールアドレス必須	〒 - TEL () 携帯mail @ PC mail @	
性別	男 ・ 女	勤務先 (略称)	〒 - TEL ()	
生年月日 (年齢)	(和暦) 年 月 日 (満 歳)			
学 歴 (高等学校以降の学歴をご記入下さい) ※高校卒業含む				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
職 歴 (実務経験及び実習指導経験、病棟名・診療科と職位をご記入下さい)				
年 月		事 項		
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
年 月 ~ 年 月				
現在の職位又は役職 () / 実務年数 計 () 年				
免 許 ・ 資 格 (保健医療に関する事項)				
年 月		事 項		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
年 月 日		(免許番号)		
〈緊急連絡先〉				
氏名		続柄		
住所 〒 -				
TEL (携帯電話)		()		

施設推薦順位

年 月 日

公立大学法人 横浜市立大学
看護キャリア開発支援センター長 殿

推 薦 書

令和6年度 第5期生 看護師の特定行為研修の受講者として、当施設より下記の者を推薦いたします。

受講希望者氏名 _____

推薦理由

施設名 _____

推薦者署名
役職 _____ 氏名 _____ 印 _____

看護部長(施設長) _____ 氏名 _____ 印 _____

令和6年度 第5期生特定行為研修受講希望コース申込書

年

月

日

※希望コースに○をして下さい。

	外科術後病棟管理領域パッケージコース
	自由選択コース
☆自由選択コースで希望する特定行為の区分に○をして下さい。	
	呼吸器（気道確保に係るもの）関連
	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連
	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連
	胸腔ドレーン管理関連
	腹腔ドレーン管理関連
	ろう孔管理関連
	栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連
	栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連
	創傷管理関連
	創部ドレーン管理関連
	動脈血液ガス分析関連
	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連
	血糖コントロールに係る薬剤投与関連
	術後疼痛管理関連
	循環動態に係る薬剤投与関連
	感染に係る薬剤投与関連
	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連
	皮膚損傷に係る薬剤投与関連

様式 1-4

年 月 日

受講志望理由書

氏名 _____

テーマ「特定行為研修の受講志望理由と研修受講後の展望について」2000字以内で述べよ。

様式 1-5

年 月 日

公立大学法人 横浜市立大学
看護キャリア開発支援センター長 殿

既修得科目履修免除申請書

申請者氏名 _____

私は、以下のとおり研修修了認定機関の看護師特定行為研修において、既に共通科目の受講を修了しているため、修了証を添えて、既修得科目の履修免除を申請いたします。

記

研修修了認定指定機関名	修了認定日
	年 月 日

以上

15. 受講手続きと納付金について

受講手続き詳細については以下を参照してください。なお、納付金（消費税込）は、受講手続き終了後、本学から送付する納付書に基づき、振り込んでください。

受講手続き期間 令和6年4月上旬頃

納付金

1) 共通科目の受講料 一括 388,000 円（税込み）

2) 区分別科目

- ① 外科術後病棟管理領域パッケージの受講料 一括 780,000 円（税込み）
- ② 自由選択コースは、選択コースにより受講料金が下記により異なるため、受講決定通知と共に別途受講料金を通知いたします。

科目名	特定行為数 (時間)	受講料金(税込み)
呼吸器関連（気道確保に係るもの）関連	1（11時間）	29,700円
呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	4（33時間）	95,700円
呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	1（9時間）	26,400円
胸腔ドレーン管理関連	2（16時間）	42,900円
腹腔ドレーン管理関連	1（10時間）	26,400円
ろう孔管理関連	2（28時間）	92,400円
栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連	1（9時間）	23,100円
栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	1（10時間）	36,500円
創部ドレーン管理関連	1（8時間）	19,800円
創傷管理関連	2（39時間）	112,200円
動脈血液ガス分析関連	2（17時間）	42,900円
栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	2（22時間）	52,800円
術後疼痛管理関連	1（11時間）	49,700円
感染に係る薬剤投与関連	1（32時間）	79,400円
血糖コントロールに係る薬剤投与関連	1（19時間）	52,800円
循環動態に係る薬剤投与関連	5（33時間）	92,400円
精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	3（29時間）	85,800円
皮膚損傷に係る薬剤投与関連	1（20時間）	56,100円

※ 納めた受講料は原則として返還しません。

●個人情報の取り扱いについて

公立大学法人横浜市立大学看護キャリア開発支援センターでは「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適正な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じております。出願および受講手続きにあたって提供いただいた個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等の必要な業務において使用させていただきます。なお、本センターが取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続により開示を求められた場合以外に、本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはありません。

募集受講生の今後の日程（予定）

令和 6 年 5 月 8 日 (水)	開講式・オリエンテーション
令和 6 年 5 月 9 日 (木)	共通科目開始
令和 6 年 10 月下旬	共通科目修了判定 区分別科目受講開始
令和 8 年 2 月頃	区分別科目修了判定・修了式



横浜市立大学附属
2 病院の特定行為研修
修了看護師の徽章

公立大学法人横浜市立大学 看護キャリア開発支援センター

看護師特定行為研修担当：加藤・川合・野崎・平田
〒236-0004

神奈川県横浜市金沢区福浦 3-9

公立大学法人横浜市立大学附属病院

4 階 看護キャリア開発支援センター

TEL：045-787-2800（代表）

メールアドレス：kango_c@yokohama-cu.ac.jp

